



パラオ通信 第10号

2023/6/29 Wed

文責：山本

# 進級・卒業シーズン！

6月のパラオは卒業シーズンです。今月、公立の小学校と高校で卒業式が行われました。パラオでは、高校の卒業式は Graduation ceremony として大々的に行われますが、小学校では Promotional day と言って、進級をみんなでお祝いする式典です。(ただし、中には進級できない生徒もいます… 😞)

人数の少ないアンガウル小学校では全校生徒が式典に参加していました。中でも成績優秀者(小1からGPAと呼ばれる学習点が出されます)には表彰がされていました。8年生は3人で、そのうちの1人はアメリカの高校に進学するそうです。



逆に人数の多いコロール小学校は8年生だけが出席して式典が行われました。日本の卒業式と同じように一人一人に証書が渡され、最後に8年生が歌を

披露していました。式中に発表されていた生徒たちの将来の夢は、教師・研究者・スキューバダイビングのインストラクターなど、様々でした。



## 【パラオ日記】



★6月4日に台湾との共同開催でパラオ初のマラソン大会(42.195km)が開催されました。参加者はパラオ国内外合わせて500人以上だったとのこと。マラソンや駅伝など走っている人たちを見るのは好きだけど、自分が走るの…と思いつつも10kmの部にエントリー。高校生以来の10kmでしたが、沿道の方々の応援もあり、楽しく走ることができました！走った後にはパラオの郷土料理が用意されており、食も楽しむことができました^^



👉魚やタロイモ、ココナッツジュースなどがありました！

👉完走後には全員にタオルとメダルが配られました。



★パラオ高校の卒業生たちは映画の世界でよく見るガウンと帽子を身に付けていました。参加者もとても多く、卒業生一人一人の名前が呼ばれると大きな歓声があがっていました。式典後には家族や友人からお祝いとして花の輪飾りや1ドル札でできた輪飾り(笑)がプレゼントされるなど、お祭りムード！日本の卒業式とはまた違った雰囲気でした。卒業生はパラオ国内の短期大学やアメリカの大学に進学したり、就職したりと様々なようです。

👉生徒のギター演奏に合わせて歌を歌っていました！



# パラオには、どんな日本人がいるの？

パラオには現在、約20名の JICA 海外協力隊がいます。半分近くは教員の方ですが、中には他の職種で来ている人もいます。その一人が世界最高齢 JICA 海外協力隊（なんと**73歳**！）の児玉さんです。児玉さんは果樹栽培という職種でパラオに派遣されており、パラオの短期大学に所属しながら現地の人たちに普及活動を行っています。過去には、ケニアやエクアドルでも活動経験があるとのことで、JICA ボランティアのスペシャリスト！

また、テニススクールのコーチを行ったり、ジョギングが趣味だったり、非常にアクティブ！（マラソン大会にも10kmの部門に参加し、私と変わらないタイムで完走されていました！）関西ノリの軽妙なトークと温かい人柄でパラオ人にも大人気です。先日、児玉さんの活動を見に行かせていただく機会があったので、紹介します！



／＼イチオシ！！／／

## ドラゴンフルーツ

給食にも、たまに出るよ！

👉パイナップルって、こんな風に実がなるって知ってましたか？サワーサップ、バナナと南国ならではのフルーツたち！



暑い中、ほぼ毎日、一日中外で活動されている児玉さん。同僚とも英語でコミュニケーションをとりながら活動されていました。本当にすごい！

時には農業分野を専攻している高校生や大学生たちに指導したり、イベントで配布する苗木をつくったりと大忙し！パラオでの果樹栽培普及のために日々、活動されている方です。

